

114 文の成分

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

文の中の働きを、文の成分をいいます。

主語 … 「何(誰)が」に当たる部分。

述語 … 「何だ」「どんなだ」「どうする」「ある(いる・ない)」に当たる部分。

修飾語 … 「何を・いつ・どこで・どのように」など、他の部分をより詳しく説明する部分。

接続語 … 前後の文や文節をつないで、いろいろな関係を示す部分。

独立語 … 他の部分とは直接関わりなく単独で働く部分。

下線部の文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2 点 × 10 問 = 20 点)

①	木の葉が <u>ゆらゆら</u> と揺れている。	②	私は、 <u>中学一年生</u> です。
③	<u>はい</u> 、私がそれをやります。	④	昨日、 <u>弟</u> が子犬を見つけた。
⑤	頭が痛かった。 <u>けれども</u> 、会社に行った。	⑥	彼らは <u>公園</u> で野球をしている。
⑦	風で <u>ろうそく</u> の火が消えた。	⑧	<u>田中先生</u> 、この問題を教えて下さい。
⑨	今日、 <u>友人</u> が家に遊びに来た。	⑩	寒いので、 <u>ストーブ</u> をつけた。
	主語		述語
			修飾語
			接続語
			独立語

下線部の連文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2 点 × 10 問 = 20 点)

①	<u>大きな熊</u> が、山を下りてきた。	②	小さな子供が <u>にこにこ</u> 笑う。
③	会場は、 <u>多くの観客</u> でいっぱいだ。	④	<u>私の宝物</u> 、それは家族と友達です。
⑤	<u>時間があれば</u> 、図書館に行こう。	⑥	<u>日本代表チーム</u> が、金メダルをとった。
⑦	<u>今日という日</u> 、いつまでも忘れない。	⑧	家の庭で、虫が <u>鳴いて</u> いる。
⑨	<u>山の向こう側</u> から朝日が昇る。	⑩	<u>急に雨が降った</u> ので、服がずぶぬれだ。
	主部		述部
			修飾部
			接続部
			独立部

主・述の関係 … 「何が～どうする」という関係。

例) 自動車が目の前を走った。

修飾・被修飾の関係 … 「どんな○○」という関係。

例) 庭にきれいな花が咲いた。

接続の関係 … 「～ならば」「～する時」「～なので」という関係。

例) 病気なので、学校を休む。

並立の関係 … 働きが同じものが並んでいる関係。

例) 畑の野菜が強く健康に育つ。

補助の関係 … 前の語の意味を補う関係。

例) 妹の様子を見に行ってみる。

棒線と波線の文節どうし関係を書きましょう。(3 点 × 10 問 = 30 点)

①	今日は <u>父親も母親も</u> 休みだ。	②	明日 <u>雨ならば</u> 、図書館で勉強する。
③	暖かい <u>光</u> が、窓から <u>差し込む</u> 。	④	<u>大きな犬</u> が公園で <u>ほえて</u> いた。
⑤	部屋の明かりが <u>消えて</u> いる。	⑥	<u>強くて冷たい</u> 風が吹きつける。
⑦	小さい <u>猫</u> が庭に <u>いる</u> 。	⑧	<u>苦しかったけど</u> 、最後まで <u>がんばった</u> 。
⑨	<u>すでに</u> 旅行の準備は <u>済んだ</u> 。	⑩	弟が真剣に本を <u>読んで</u> いる。
	主・述		修飾・被修飾
			接続
			並立
			補助

下線部の修飾語を受ける文節を、書き抜きましょう。(3 点 × 10 問 = 30 点)

①	川上から <u>大きな桃</u> が流れてきた。	②	<u>遠くに</u> 青い海が見える。
③	<u>正しい</u> 答えを思いついた。	④	雲が <u>ゆっくり</u> と空を進む。
⑤	<u>たいへん美しい</u> 絵がかかっている。	⑥	<u>水平線のかたに</u> 小さな島が見える。
⑦	私は <u>人の役に立つ</u> 仕事につきたい。	⑧	<u>朝早く</u> 起きるのは気持ちがいい。
⑨	<u>長年の研究</u> の成果が発表された。	⑩	<u>夜の十時頃</u> 、その男は駅に到着した。

117 短歌

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

枕詞は、リズムを整えるための言葉で、歌の内容に関係なく、必ず特定の言葉と結び付きます。

白たへの→衣	ちはやぶる→神	たらちねの→母	あをによし→奈良	やくもたつ→出雲
むらぎもの→心	ぬばたまの→夜・髪	あしひきの→山・峰	ひさかたの→光・月	からころも→裾・袖

短歌を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 10 問 = 50 点)

A	<p>韓衣 裾<small>すそ</small>に取りつき 泣く子らを ①置<small>お</small>きてそ来<small>き</small>ぬや 母<small>お</small>なしにして [②防人歌]</p> <p>裾<small>すそ</small>にしがみついて泣く子供らを、()。母親<small>お</small>もいないのに。</p>
B	<p>ちはやぶる 神世<small>かみよ</small>も聞<small>き</small>かず たつた河 韓<small>が</small>③紅<small>から</small>に 水<small>(れん)</small>くるとは [ありわらのなりひら]</p> <p>神の世の頃でも聞いたことがない。竜田川<small>たつたがわ</small>の紅葉<small>からべいろ</small>が唐紅色<small>からべいろ</small>に水を染めるなんて。</p>
C	<p>ひさかたの 光④のどげき 春の日に ⑤しづ心なく 花の⑥散<small>ち</small>るらむ [きのともり]</p> <p>光がのどかな春の日に、静かな心もなく、花は散るのだろう。</p>
①	線①の現代語訳を書きましょう。
②	線②の防人は、どのような仕事ですか。()沿岸を防衛する兵役。
③	線③を現代仮名遣いに直しましょう。
④	線④の現代語訳を書きましょう。
⑤	線⑤を現代仮名遣いに直しましょう。
⑥	線⑥を現代仮名遣いに直しましょう。
⑦	A の枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。
⑧	B の枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。
⑨	C の枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。
⑩	短歌はいくつの音からなる詩ですか。

万葉集に多い二句切れや四句切れは五七調ごしちちようといわれ、古今・新古今に多い初句切れや三句切れは七五調しちごちようといわれます。

短歌を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 10 問 = 50 点)

A	<p>玉<small>たま</small>の緒<small>いと</small>よ 絶<small>た</small>えなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする [式子内親王]</p> <p>魂<small>たま</small>の緒<small>いと</small>よ、絶<small>た</small>えるなら絶<small>た</small>えてしまえ。生き長<small>なが</small>らえると、耐<small>た</small>え忍<small>しの</small>ぶ心<small>こころ</small>が弱<small>よ</small>ってしまう。</p>
B	<p>さびしさは その色<small>いろ</small>としも なかりけり 真木<small>まき</small>たつ山の 秋<small>あき</small>の夕暮<small>ゆふぐれ</small> [じゃくれんぼうし]</p> <p>さびしさはその色のせいということでもないのだなあ。杉<small>杉</small>やひのきが立つ山の秋<small>あき</small>の夕暮<small>ゆふぐれ</small>よ。</p>
C	<p>道のべに 清水<small>しみづ</small>流<small>なが</small>る 柳<small>やなぎ</small>かげ しばしとてこそ 立ちとまりつれ [さいぎょうぼうし]</p> <p>道端<small>みちづち</small>に清<small>しみづ</small>らかな川<small>が</small>が流<small>なが</small>れ、柳<small>やなぎ</small>の陰<small>かげ</small>がある。少<small>すこ</small>しのつもりが長<small>なが</small>く立<small>た</small>ち止<small>と</small>まってしまったなあ。</p>
①	A の短歌は何句切れですか。
②	B の短歌は何句切れですか。
③	C の短歌は何句切れですか。
④	A の短歌の調子を答えましょう。
⑤	B の短歌の調子を答えましょう。
⑥	C の短歌の調子を答えましょう。
⑦	C から、係りの語を抜き出しましょう。
⑧	C は、どの季節の情景を詠んだものですか。
⑨	秘めた恋心のつらさを詠んだ歌はどれですか。
⑩	理由のない寂しさを詠んだ歌はどれですか。

119 漢文①

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

故事成語とは、昔の中国の有名な話から生まれた言葉で、生きていくうえでの戒めや励ましとして用いられます。

例) 五十歩百歩 → 本質的には大きな差がないこと。 背水の陣 → 決死の覚悟で物事を行うこと。

文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点 × 10 問 = 50 点)

楚人に盾と矛とを①鬻ぐ者有り。
 ②之を誉めて③曰はく、
 「吾が④盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。」と。
 又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が⑤矛の利きこと、
 物に於いて陥さざる無きなり。」と。
 或ひと曰はく、「子の矛を以つて、子の盾を⑥陥さば、如何。」
 と。⑦其の人応ふること能はざるなり。

楚の国の人で盾と矛を()者がいた。
 ()を自慢して言うには、
 「私の盾の堅いことといったら、突き通せるものはないのだ。」と。
 又、その矛を自慢して言うには、「私の矛の鋭いことといったら、
 どんな物でも突き通さないことはないのだ。」と。
 ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突いたらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

- ① 線①の現代語訳を書きましょう。
- ② 線②は何を指していますか。
- ③ 線③を現代仮名遣いに直しましょう。
- ④ 線④をどのくらいだと説明していますか。
- ⑤ 線⑤をどのくらいだと説明していますか。
- ⑥ 線⑥を現代仮名遣いに直しましょう。
- ⑦ 線⑦で、なぜその人は答えられなかったのですか。
- ⑧ 「矛盾」という故事成語の意味を書きましょう。
- ⑨ 「蛇足」という故事成語の意味を書きましょう。
- ⑩ 「推敲」という故事成語の意味を書きましょう。

漢文を読むとき、レ点がある場合、後の一字から、すぐ前の一字に戻って読みます。

一二点がある場合、一を読んでから二に戻って読み、上下点がある場合、上を読んでから下に返って読みます。

返り点に従って読む順番を数字で書きましょう。(5 点 × 6 問 = 30 点)

①			レ		レ			②							
③			二		一			④							一
⑤			二		レ		一	⑥				一		レ	

返り点に従って読む順番を数字で書きましょう。(5 点 × 4 問 = 20 点)

①		二			レ		レ			下			一		上
②		レ		レ			下		二			一		上	
③		下		二			上					レ		レ	
④		二			レ		レ						下		上

111 副詞・形容詞・形容動詞・連体詞

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

副詞は主に用言(動詞・形容詞・形容動詞)を修飾し、状態や程度を表します。

状態を表す副詞は、後に「する」をつけると見つけられます。例) きれいにする、ゆらゆらする、いつもする

程度を表す副詞は、後に「すごい」をつけると見つけられます。例) とてもすごい、もっとすごい、ややすごい

例外として、後に続く言葉が決まっている呼応の副詞があります。例) 決して遅くない。まるで夢のようだ。まさかできまい。

状態を表す副詞を書き抜きましょう。(3 点×6 問=18 点)

①	その木はどっしりとして見える。	<u>どっしり</u> と(する)	②	彼女はすぐに出て行った。	<u>すぐに</u> (する)
③	私は時々本を読む。	<u>時々</u> (する)	④	祖父は公園をゆっくり歩く。	<u>ゆっくり</u> (する)
⑤	彼らはどうにか目的地に着いた。	<u>どうにか</u> (する)	⑥	今朝は早く目が覚めた。	<u>早く</u> (する)

程度を表す副詞を書き抜きましょう。(3 点×6 問=18 点)

①	とても長い坂を登ってきた。	<u>とても</u> (すごい)	②	その通りはかなりにぎやかだ。	<u>かなり</u> (すごい)
③	今日は少し寒い。	<u>少し</u> (すごい)	④	電車がちょっと遅れているようだ。	<u>ちょっと</u> (すごい)
⑤	そのおいしいクッキーがもっとほしい。	<u>もっと</u> (すごい)	⑥	彼はたいへん優しい男の子だ。	<u>たいへん</u> (すごい)

呼応の副詞を書き抜きましょう。(3 点×6 問=18 点)

①	私たちはその博物館にぜひ行きたい。	<u>ぜひ</u> (～たい)	②	もし翼があれば、飛んでみたい。	<u>もし</u> (～ば)
③	私はその人のことを全く知らない。	<u>全く</u> (～ない)	④	なぜその商品は売れたのか。	<u>なぜ</u> (～か)
⑤	たとえ失敗しても大丈夫だ。	<u>たとえ</u> (～ても)	⑥	彼はたぶん来ないだろう。	<u>たぶん</u> (～だろう)

形容詞・形容動詞・連体詞は、体言(名詞)を修飾し、後に「もの」をつけると見つけられます。

例)形容詞 … 楽しいもの、形容動詞 … 静かなもの、連体詞 … おかしなもの

形容詞は、言い切りの形が「い」になります。例) 美しい、早い、大きい、やわらかい、青い

形容動詞は、語尾が「な」にも「だ」にもなります。例) きれいな→きれいだ、静かな→静かだ、不思議な→不思議だ

連体詞は、語尾「の・な・た・る」になります。例) この、大きな、おかしな、たいした、ある

下線部の品詞を、形容詞・形容動詞・連体詞の中から選んで書きましょう。(2 点×20 問=40 点)

①	<u>どの</u> 道を通ればいいですか。	<u>連体詞</u>	②	<u>小さい</u> 女の子が泣いている。	<u>形容詞</u>
③	外に出るのは <u>危険</u> だ。	<u>形容動詞</u>	④	富士山は日本一 <u>高い</u> 山だ。	<u>形容詞</u>
⑤	<u>例</u> の話聞かせてほしい。	<u>連体詞</u>	⑥	今日は波が <u>おだやか</u> だ。	<u>形容動詞</u>
⑦	一人ぼっちで <u>さびしい</u> 。	<u>形容詞</u>	⑧	<u>小さな</u> 村に神社があった。	<u>連体詞</u>
⑨	<u>たった</u> 数分で全部覚えた。	<u>連体詞</u>	⑩	優勝できて <u>うれしい</u> です。	<u>形容詞</u>
⑪	彼は <u>たいした</u> 人物だ。	<u>連体詞</u>	⑫	<u>鮮やかな</u> 色に染める。	<u>形容動詞</u>
⑬	彼は <u>りっぱな</u> 学者になった。	<u>形容動詞</u>	⑭	<u>いかなる</u> 時も、約束は守る。	<u>連体詞</u>
⑮	食料はこれで <u>十分</u> だろう。	<u>形容動詞</u>	⑯	試合に負けて <u>悲し</u> かった。	<u>形容詞</u>
⑰	外はまだ <u>暗</u> かった。	<u>形容詞</u>	⑱	<u>あらゆる</u> 可能性を考える。	<u>連体詞</u>
⑲	その芸能人の結婚式は <u>華やか</u> だった。	<u>形容動詞</u>	⑳	注射がとても <u>痛</u> かった。	<u>形容詞</u>

形容詞と形容動詞の活用は、未然形(～)、連用形(～た)、終止形(～。)、連体形(～とき)、仮定形(～ば)があります。

空欄に語幹と活用語尾を入れて、形容詞や形容動詞の活用表を完成しましょう。(3 点×2 問=6 点)

	基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	仮定	命令	活用の種類
①	早い	<u>はや</u>	<u>かる</u>	<u>かっ</u>	<u>い</u>	<u>い</u>	<u>けれ</u>	○	○
②	静かだ	<u>しずか</u>	<u>だる</u>	<u>だっ</u>	<u>だ</u>	<u>な</u>	<u>なら</u>	○	○

114 文の成分

制限時間は30分です。

80点以上の合格点を目指しましょう。

点

文の中の働きを、文の成分をいいます。

主語 … 「何(誰)が」に当たる部分。

述語 … 「何だ」「どんなだ」「どうする」「ある(いる・ない)」に当たる部分。

修飾語 … 「何を・いつ・どこで・どのように」など、他の部分をより詳しく説明する部分。

接続語 … 前後の文や文節をつないで、いろいろな関係を示す部分。

独立語 … 他の部分とは直接関わりなく単独で働く部分。

下線部の文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	木の葉が <u>ゆらゆら</u> と揺れている。	修飾語	②	私は、 <u>中学一年生</u> です。	述語
③	<u>はい</u> 、私がそれをやります。	独立語	④	昨日、 <u>弟</u> が子犬を見つけた。	主語
⑤	頭が痛かった。 <u>けれども</u> 、会社に行った。	接続語	⑥	彼らは <u>公園</u> で野球をしている。	修飾語
⑦	風で <u>ろく</u> の火が消えた。	述語	⑧	<u>田中先生</u> 、この問題を教えて下さい。	独立語
⑨	今日、 <u>友人</u> が家に遊びに来た。	主語	⑩	<u>寒いので</u> 、ストーブをつけた。	接続語
主語		述語	修飾語		独立語

下線部の連文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	<u>大きな熊</u> が、山を下りてきた。	主部	②	小さな子供が <u>にこにこ</u> 笑う。	述部
③	会場は、 <u>多くの観客</u> でいっぱいだ。	修飾部	④	<u>私の宝物</u> 、それは家族と友達です。	独立部
⑤	<u>時間があれば</u> 、図書館に行こう。	接続部	⑥	<u>日本代表チーム</u> が、金メダルをとった。	主部
⑦	<u>今日という日</u> 、いつまでも忘れない。	独立部	⑧	家の庭で、虫が <u>鳴</u> いている。	述部
⑨	<u>山の向こう側</u> から朝日が昇る。	修飾部	⑩	<u>急に雨が降ったので</u> 、服がずぶぬれた。	接続部
主部		述部	修飾部		独立部

主・述の関係 … 「何が～どうする」という関係。

例) 自動車が目の前を走った。

修飾・被修飾の関係 … 「どんな○○」という関係。

例) 庭にきれいな花が咲いた。

接続の関係 … 「～ならば」「～する時」「～なので」という関係。

例) 病気のので、学校を休む。

並立の関係 … 働きが同じものが並んでいる関係。

例) 畑の野菜が強く健康に育つ。

補助の関係 … 前の語の意味を補う関係。

例) 妹の様子を見に行ってみる。

棒線と波線の文節どうし関係を書きましょう。(3点×10問=30点)

①	今日は <u>父親も母親も</u> 休みだ。	並立	②	明日 <u>雨ならば</u> 、図書館で勉強する。	接続
③	暖かい <u>光</u> が、窓から <u>差し込む</u> 。	主・述	④	<u>大きな犬</u> が公園で <u>ほえて</u> いた。	修飾・被修飾
⑤	部屋の明かりが <u>消</u> えている。	補助	⑥	<u>強く冷たい</u> 風が吹きつける。	並立
⑦	小さい <u>猫</u> が庭に <u>いる</u> 。	主・述	⑧	<u>苦しかったけど</u> 、最後まで <u>がんば</u> った。	接続
⑨	<u>すでに</u> 旅行の準備は <u>済</u> んだ。	修飾・被修飾	⑩	弟が真剣に本を <u>読</u> んでいる。	補助
主・述		修飾・被修飾	接続		並立

下線部の修飾語を受ける文節を、書き抜きましょう。(3点×10問=30点)

①	川上から <u>大きな桃</u> が流れてきた。	桃(が)	②	<u>遠く</u> に青い海が見える。	見える
③	<u>正しい</u> 答えを思いついた。	答え(を)	④	雲が <u>ゆっくり</u> と空を進む。	進む
⑤	<u>たいへん美しい</u> 絵がかかっている。	絵(が)	⑥	<u>水平線</u> のかたに <u>小さな</u> 島が見える。	見える
⑦	私は <u>人の役に立つ</u> 仕事につきたい。	仕事(に)	⑧	<u>朝早く</u> 起きるのは気持ちがいい。	起きる
⑨	<u>長年の研究</u> の成果が発表された。	成果(が)	⑩	<u>夜の十時頃</u> 、その男は駅に到着した。	到着した

117 短歌

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

枕詞は、リズムを整えるための言葉で、歌の内容に関係なく、必ず特定の言葉と結び付きます。

白たへの→衣	ちはやぶる→神	たらちねの→母	あをによし→奈良	やくもたつ→出雲
むらぎもの→心	ぬばたまの→夜・髪	あしひきの→山・峰	ひさかたの→光・月	からころも→裾・袖

短歌を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×10問=50点)

A	からころも すそ 韓衣 裾に取りつき 泣く子らを ①置きてそ来ぬや 母なしにして 裾にしがみついて泣く子供らを、()。母親もいないのに。	[②防人歌]
B	ちはやぶる 神世も聞かず たつた河 韓③紅に 水くるとは 神の世の頃でも聞いたことがない。竜田川の紅葉が唐紅色に水を染めるなんて。	[在原業平]
C	ひさかたの 光④のどげき 春の日に ⑤しづ心なく 花の⑥散るらむ 光がのどかな春の日に、静かな心もなく、花は散るのだろう。	[紀友則]
①	線①の現代語訳を書きましょう。	置いて来てしまった
②	線②の防人は、どのような仕事ですか。	(九州)沿岸を防衛する兵役。
③	線③を現代仮名遣いに直しましょう。	くれない
④	線④の現代語訳を書きましょう。	のどかな
⑤	線⑤を現代仮名遣いに直しましょう。	しず
⑥	線⑥を現代仮名遣いに直しましょう。	ちるらん
⑦	Aの枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。	韓衣→裾
⑧	Bの枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。	ちはやぶる→神
⑨	Cの枕詞と枕詞に結び付く語を書きましょう。	ひさかたの→光
⑩	短歌はいくつの音からなる詩ですか。	三十一音

万葉集に多い二句切れや四句切れは五七調といわれ、古今・新古今に多い初句切れや三句切れは七五調といわれます。

短歌を読んで、あとの問いに答えましょう。(5点×10問=50点)

A	玉の緒よ 絶えなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする 魂の緒よ、絶えるなら絶えてしまえ。生き長らえると、耐え忍ぶ心が弱ってしまう。	[式子内親王]
B	さびしさは その色としも なかりけり 真木たつ山の 秋の夕暮 さびしさはその色のせいということでもないのだなあ。杉やひのきが立つ山の秋の夕暮よ。	[寂蓮法師]
C	道のべに 清水流るる 柳かげ しばしとてこそ 立ちとまりつれ 道端に清らかな川が流れ、柳の陰がある。少しのつもりが長く立ち止まってしまったなあ。	[西行法師]
①	Aの短歌は何句切れですか。	二句切れ
②	Bの短歌は何句切れですか。	三句切れ
③	Cの短歌は何句切れですか。	三句切れ
④	Aの短歌の調子を答えましょう。	五七調
⑤	Bの短歌の調子を答えましょう。	七五調
⑥	Cの短歌の調子を答えましょう。	七五調
⑦	Cから、係りの語を抜き出しましょう。	こそ
⑧	Cは、どの季節の情景を詠んだものですか。	夏
⑨	秘めた恋心のつらさを詠んだ歌はどれですか。	A
⑩	理由のない寂しさを詠んだ歌はどれですか。	B

119 漢文①

制限時間は 30 分です。

80 点以上の合格点を目指しましょう。

点

故事成語とは、昔の中国の有名な話から生まれた言葉で、生きていくうえでの戒めや励ましとして用いられます。

例) 五十歩百歩→本質的には大きな差がないこと。背水の陣→決死の覚悟で物事を行うこと。

文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(5 点×10 問=50 点)

<p>楚人に盾と矛とを①鬻ぐ者有り。 ②之を誉めて③曰はく、 「吾が④盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。」と。 又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が⑤矛の利きこと、 物に於いて陥さざる無きなり。」と。 或ひと曰はく、「子の矛を以つて、子の盾を⑥陥さば、如何。」 と。⑦其の人応ふること能はざるなり。</p>	<p>楚の国の人で盾と矛を()者がいた。 ()を自慢して言うには、 「私の盾の堅いことといったら、突き通せるものはないのだ。」と。 又、その矛を自慢して言うには、「私の矛の鋭いことといったら、 どんな物でも突き通さないことはないのだ。」と。 ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突いたらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。</p>
--	--

①	線①の現代語訳を書きましょう。	売る
②	線②は何を指していますか。	盾
③	線③を現代仮名遣いに直しましょう。	いわく
④	線④をどのくらいだと説明していますか。	たいへん堅いので、突き通せるものはない。
⑤	線⑤をどのくらいだと説明していますか。	たいへん鋭いので、突き通せないものはない。
⑥	線⑥を現代仮名遣いに直しましょう。	とおさば
⑦	線⑦で、なぜその人は答えられなかったのですか。	矛と盾の話のつじつまが合わないことに気付いたから。
⑧	「矛盾」という故事成語の意味を書きましょう。	話のつじつまが合わないこと。
⑨	「蛇足」という故事成語の意味を書きましょう。	余計なものを付け足すこと。
⑩	「推敲」という故事成語の意味を書きましょう。	詩や文章の言葉をよく練り上げること。

漢文を読むとき、レ点がある場合、後の一字から、すぐ前の一字に返って読みます。

一二点がある場合、一を読んでから二に返って読み、上下点がある場合、上を読んでから下に返って読みます。

返り点に従って読む順番を数字で書きましょう。(5 点×6 問=30 点)

①	1	3 レ	2	5 レ	4	②	3 レ	2 レ	1	5 レ	4
③	1	4 二	2	3 一	5	④	5 二	1	2	3	4 一
⑤	5 二	1	3 レ	2	4 一	⑥	3 二	1	2 一	5 レ	4

返り点に従って読む順番を数字で書きましょう。(5 点×4 問=20 点)

①	7 二	1	4 レ	3 レ	2	10 下	5	6 一	8	9 上
②	3 レ	2 レ	1	9 下	4	7 二	5	6 一	8 上	10
③	4 下	8 二	1	2	3 上	5	7 レ	6	10 レ	9
④	6 二	1	3 レ	2	5 レ	4	7	10 下	8	9 上